



第70回日本医学検査学会  
はWeb開催（オンデマン  
ド形式）になりました。



### 長臨技Webセミナーのご案内

令和3年2月25日（木）に第3回長臨技Webセミナー（R-CPC）を開催いたします。日臨技ホームページで申し込み可能となっておりますのでご確認ください。皆様のご参加をお待ちしています。





# 今村先生に叙勲祝いのお花を届けてきました



会員皆様から祝賀会の開催計画に関するお問い合わせをいただいております。長臨技としては、祝賀会を開催する方針でいます。ただ、新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催の時期や内容についてはまだ決まっておりません。新型コロナウイルスの感染状況を考慮しての開催となりますのをご了承願います。(門脇)

## 開催形式の変更について

皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の再拡大に伴い、厳しい業務の中大変お忙しい日々を送られていることと存じます。日々、最前線で尽力されている皆様に、心から敬意を表するとともに、深く感謝を申し上げます。

さて、本会は5月15日（土）、16日（日）に福岡での現地開催を目指して準備を進めておりましたが、昨今の感染拡大状況から現地開催は難しいと判断し、苦渋の選択ではございますが、**Web開催（オンデマンド開催）**と変更させていただくことになりました。

開催形態が変更となりご不便をおかけいたしますが、これまでどおり充実した学会となるよう鋭意準備を進めておりますので、何卒ご理解いただき、本学会開催に引き続きお力添えの程をよろしくお願い申し上げます。

多くの皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

※詳細は、随時HPにて公開いたします。今しばらくお待ちください。

※座長・演者の皆様には、今後の対応につきまして、別途ご案内させていただきます。

第70回日本医学検査学会  
学会長 西浦 明彦



70th JAMT CONGRESS 2021 FUKUOKA

# 第70回

The 70th JAMT CONGRESS 2021

# 日本医学検査学会

in 福岡

会期 令和3年(2021年)5月15日(土)・16日(日)

会場 福岡国際会議場・マリメッセ福岡・福岡サンパレス

学会長 西浦 明彦 医療法人創起会 くまもと森都総合病院

実行委員長 倉重 康彦 一般社団法人朝倉医師会 朝倉医師会病院

What to do in the future  
～ 臨床検査の深化と進化～  
(Deepen & Evolution)

研修会名 : 2020年度長崎県輸血検査Webセミナー  
開催日時 : 2021年1月17日(日) 10:00~12:00  
会場 : Webセミナー(ホスト会場:佐世保市総合医療センター)  
参加者数 : 15名(講師等含む)

### <概要・効果>

ZOOM研修会を開催にあたり、参加者のログイン状況・通信状況、聴講状態をどのように確認するのか、マニュアルもなく大変苦慮した。また、参加者にはミュートをOFF・ビデオOFF・チャット機能を使用し、【会員番号・氏名】の送信をお願いしていたが、参加者自身も対応できず、ログインしている人数は参加人数に達しているが、参加確認できないものが3名発生した。レポートを提出をもって参加の確認を行うことにしているが、現在のところ提出率は100%ではない。参加者の対応についても統一したマニュアル作成の必要性を感じた。参加者からもZoomの操作が不明であったこと、離島の参加者においては通信が一度遮断したことなどの意見が寄せられた。通信遮断についてはビデオOFFで対応することで、通信容量の削減に努めていたが、人数が増えれば通信状況に負荷が生じることを念頭に置く必要がある。時間については、開催時間や聴講時間については参加者からも特に意見は認められず、次回開催の際もこの程度の時間で対応したい。講義内容については、今回の参加者は全体的に小規模施設の参加者が多く、より基礎的な内容を行った。内容については患者赤血球浮遊液の作り方や試薬の滴下の順番など基礎をしっかりと確認してもらった内容とした。このWebセミナーを通し、より安全な輸血が各施設で行われることを願う。

輸血検査研究班班長 松永光博 佐世保市総合医療センター

集合研修ができない状況の中、研究班単独でWebセミナーを開催していただきありがとうございました。

- 講師 : 渡辺大海 技師 (井上病院)  
内容 : 検体検査を実施するうえで気を付けたい点について  
開催日時 : 2021年1月28日 (木) 18:30~19:30  
参加者数 : 47名 (講師等含む)

渡辺技師から、質問に対する回答をいただきました。

### Q.ヘパリン治療の方の採血はヘパリンリチウムと凝固促進剤入りではどちらが望ましいでしょうか？

A. 当院では、基本血清での測定とじていますので凝固促進剤入(血清)で行っています。凝固促進剤入で行う場合は十分に凝固させないとフィブリン析出の可能性があるので当院ではトロンビン添加急速凝固管を使用しています。トロンビン添加急速凝固管では一部項目(ProGRPなど)が影響を受けます。血漿で行う場合はフィブリン析出の可能性は下がりますが、血漿検体となるため対象項目にもよるとは思います。ヘパリン(血漿)での検査ができないもの(免疫系・外注等の材料指定)がありますのでその点に注意が必要と思います。

### Q. パニック値報告は施設により対応は異なるでしょうが、医師へ連絡が第一である事は変わらないと思います。医師へ連絡がつかない場合、電カルの掲示板等へ案内をしていますか。また、医師へ確実に報告された事が、分かる様なシステムがありますか。例えば既読、確認入力、等があれば教えてください。

A. 当院では基本的には医師に連絡、外来中は担当アシスタントに電話連絡。入院患者で担当医に連絡がつかない場合や不在時(病棟師長に連絡)には電話連絡と電子カルテのメールで連絡となっています。(電子カルテメールは既読確認可能) システム的な補助はほとんどできていないため課題を残しております。

## Q&A

**Q. 先日、病棟の検体で電解質K値が初検で12.0mEq/L(前日の測定値3.5mEq/L)でした。検体に溶血はなく、再検しても測定値は変わらず、その日の精度管理は問題なしでした。主治医に確認するとそれはおかしいとのことで、再採血を依頼し、測定すると今度は3.7mEq/Lでした。昨日の講演ではクレンジングなどが原因で2.0くらいの正誤差はあるとのことでしたが、その他このように乖離が発生する原因はありますか？ ご教授いただければ幸いです。**

A. 精度管理問題なく、再検しても同一とのことですので該当の採血管に問題があると考えられます。K偽高値の原因としては、抗凝固剤の混入（EDTA-2K）、全血放置（0.2程度）、筋からの一過性の放出（採血手技によるもの）、血小板からの放出、血球内からの漏出などが考えられます。今回、3.5⇒12.0とかなりKが底上げされていますのでEDTA-2K血の生化学採血管への混入が疑わしいかと思います。（過去に4.4⇒10.8に上昇した事例があり）

**Q.偽性高K血症でお聞きしたいのですが、血小板が60万/ $\mu$ L以上でKが基準値内の場合でも、ヘパリン採血で確認した方が良いでしょうか。**

A. 真値という意味では取り直しが理想ですが、検査センターなど再採血が難しい場合もあると思います。臨床側にKが高く出ている可能性をお伝えして必要であれば取り直して良いと思います。ただし、K測定値が低値の場合は（2.5以下だとパニック値）注意が必要かと思います。なお慢性リンパ球性白血病でWBC10万/ $\mu$ L以上の場合、同様の現象が起こることがあり、ヘパリン採血を行うだけでは不十分で、白血病細胞を破壊しないように、採血した容器をできるだけ静かに輸送し処理することが必要になると報告があります。

**Q同一患者のパニック値は毎回報告しますか？**

A. 同一患者の同じ項目のパニック値は、項目によるかと思いますが、院内の取り決めによると思いますので臨床医と対応について話し合っておく必要があると思います。当院では、電解質・血算は毎回報告、酵素系などは同時期の入院であれば初回のみ報告としています。

会員各位

令和3年2月吉日

(一社)長崎県臨床検査技師会  
会長 門脇和秀  
(公印省略)

### 第3回長臨技 Web セミナー(R-CPC)開催のご案内

- 【日時】 2021年2月25日(木) 18:30~19:40
- 【講師】 菖蒲 巧 技師 (諫早総合病院)
- 【内容】 「R-CPCの進め方について症例を交えて+プチ血ガス R-CPC」
- 【定員】 100名 (長臨技会員)
- 【申込期限】 2月21日 定員になり次第締め切ります
- 【参加費】 無料
- 【日臨技生涯教育研修制度】 専門教科20点

#### 《申込方法》

最初に、日臨技会員専用サイトによる事前申込をお願いします。日臨技ホームページ「研修会・学会検索事前申込」からの申し込みが可能です。

2月22日(月)に登録された連絡用メールアドレスに Web セミナー参加のための zoom 事前登録用メールを送ります。必ずそのメール記載の URL をクリックし、zoom 事前登録をお願いします。登録直後に Web セミナー参加のための URL が記載されたメールが届きます。zoom 事前登録のメールおよび Web セミナー参加のための URL が記載されたメールが届かない場合は下記問い合わせ先にご連絡ください。

#### 《注意事項》

- ✦ 原則として、申込期限を過ぎての申し込みはできません。
- ✦ Web セミナーは zoom ミーティングを使用して開催します。
- ✦ PC、タブレット、スマートフォンでの参加が可能です。操作方法については事前に各自において確認されることをお勧めします。
- ✦ Wi-Fi 環境ではない場合は通信料にご注意ください。
- ✦ 講演中は音声をミュートにしてください。
- ✦ 画像は on でも off でも構いません。
- ✦ 生涯教育点数付与は、事前申込がされ、セミナー参加が確認された場合に付与されます。
- ✦ セミナー終了後に参加確認のためのアンケートを実施します。そのアンケートに回答した方を参加者として日臨技に登録いたします。アンケートに回答いただけない場合は参加したことになりませんのでご注意ください。
- ✦ 講演の録画やチャプターは禁止します。

問い合わせ先: 長崎川棚医療センター 臨床検査科

中村 孝男

E-mail : nakamura.takao.nh@mail.hosp.go.jp